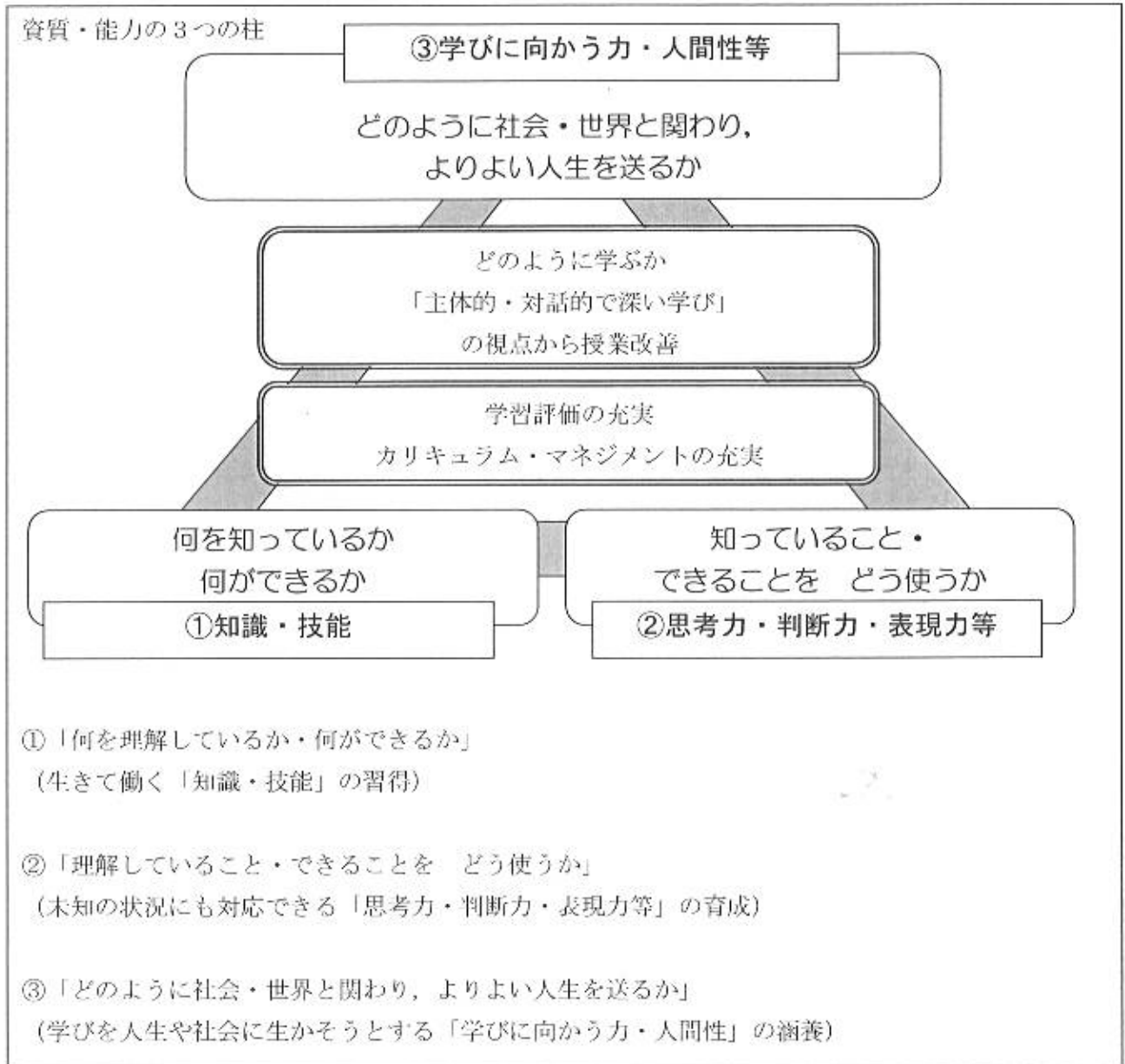


1 これからの子どもたちに求められる資質・能力 **何ができるようになるか**



これらの資質・能力を育てていくためには、
「各教科等をなぜ学ぶのか」「それを学ぶとどういった力が付くのか」という
「各教科の見方・考え方」をもとに、教師は子どもに指導していく

2 教科の新設・見直し

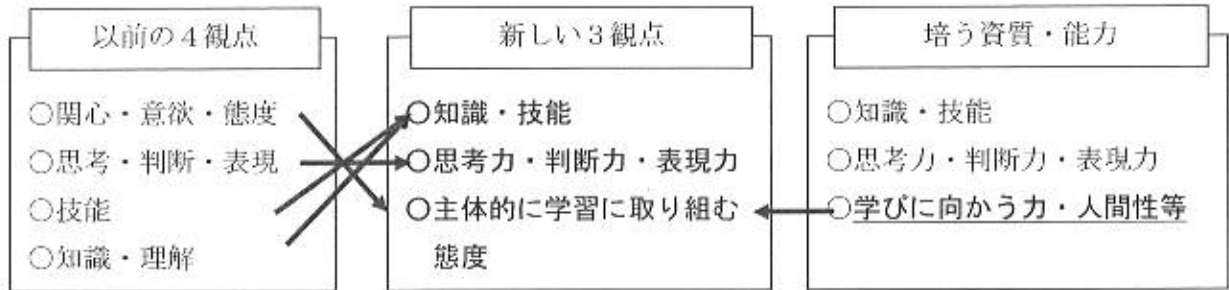
何を学ぶか

3 主体的・対話的で深い学び

どのように学ぶか

4 何が身に付いたか・・・学習評価の充実

(1) これまでの4観点⇒3観点へ



(2) 資質・能力と3観点の文言の違い

「学びに向かう力・人間性」に示された資質・能力には、「感性や思いやり等」が含まれる。しかし、これらは学習状況の評価にはなじむものではないと考えられる。

↓

そこで、学校教育法に示された「主体的に学習に取り組む態度」として設定する。

↓

感性や思いやり等については、評価の対象外とする。

(3) 東原小における評価項目の見直し

- ① 「関心・意欲・態度」だったものを、「主体的」に関わる文言を入れて見直す。
- ② 「思考力・判断力・表現力」に関わる文言を教科の特性に応じて検討する。
- ③ 「知識・技能」については、昨年までの評価項目を参考にする。また、教科の特性に応じて、単元ごとや学習のまとまりで評価する。
- ④ 各教科で3観点到に沿って、評価の項目を作成する。
- ⑤ 評価項目の順番を、上述の順番に合わせる形にする。

【例】5年 1学期 算数

知識として理解できた部分または技能の部分の文言

算 数	知・技	小数と整数の仕組みについて理解することができる。	
	知・技	合同な図形の性質や図形の角について理解し、作図することができる。	
	知・技	単位量あたりの大きさの意味がわかり、活用できる。	
	知・技	小数のかけ算の意味を理解し、正しく計算することができる。	
	知・技	小数のわり算の意味を理解し、正しく計算することができる。	
	態・断・表	見通しをもち、筋道を立てて考えたり、既習の内容と結び付けて考えたりする。	
	主・体	数量や図形について感覚を豊かにし、算数の学習に進んで取り組もうとする。	

教科の特性に応じた見方・考え方の文言

主体的な態度に関係する文言

5 各教科の「主体的態度」に関する文言例

国	低	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、思いや考えを伝え合おうとする。
	中	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、思いや考えを伝え合おうとする。
	高	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで思いや考えを伝え合おうとする。
社	中	社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする。
	高	社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする。
算	1	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとする。
	2	数量や図形に進んで関わり、数理的な処理のよさに気付きながら学ぼうとする。
	3	数量や図形に進んで関わり、数理的な処理のよさに気付きながら学ぼうとする。
	4	数学のよさに気付き、多面的に捉え検討してより良いものを求めて粘り強く考えようとする。
	5	数学のよさに気付き、多面的に捉え検討してより良いものを求めて粘り強く考えようとする。
	6	数学のよさに気付き、多面的に捉え検討してより良いものを求めて粘り強く考えようとする。
理	中	自然に親しみ、観察・実験などを行い、主体的に問題を解決しようとする。
	高	自然に親しみ、観察・実験などを行い、主体的に問題を解決しようとする。
生	低	身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうとする。
音	低	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら取り組もうとする。
	中	進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら取り組もうとする。
	高	主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら取り組もうとする。
図	低	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わおうとする。
	中	進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わおうとする。
	高	主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わおうとする。
家	高	家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようとする。
体	低	各種の運動遊びに進んで取り組み、決まりを守り、仲良く運動しようとする。
	中	各種の運動に進んで取り組み、決まりを守り、仲良く運動しようとする。
	高	各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動しようとする。
外	高	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。

6 各教科の「思考力・判断力・表現力」に関わる文言例

国	低	話す事柄の順序を考えたり、相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫したりする。(話す聞く)
		伝えたいことを明確にして書くことができる。
	中	時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えて読むことができる。
		話の構成を考えたり、自分の考えをもって聞いたり話したりできる。
		書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作って書くことができる。
	高	段落相互の関係に着目したり、登場人物の気持ちの変化を感じたりして読むことができる。
目的や意図に応じたり、事実と感想、意見とを区別して聞いたり話したりできる。		
筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えて書くことができる。		
社	中	文章と図表などを結び付けたり、人物像などを想像したりして読むことができる。
	高	社会的事象の特色や相互の関連に着目して考え、気付いたことを表現できる。
算	中	社会的事象の特色や相互の関連に着目して考え、気付いたことを表現できる。
	1	ものの数に着目し、具体物や図などを用いて考えることができる。
	2	数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて考えることができる。
	3	数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて考えることができる。
	4	数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて考えることができる。
	5	数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて考えることができる。
理	6	数とその表現や数量の関係に着目し、発展的に考えたり、多様な表現方法を用いて考えたりすることができる。
	3	自然事象の差異点や共通点に気付く、問題を見出すことができる。
	4	見出した問題について既習事項や生活経験をもとに根拠のある予想や仮説を発想できる。
	5	予想や仮説などをもとに質的変化や量的変化、時間的変化に着目して解決の方法を発想できる。
音	6	自然事象の変化や働きについてその要因や規則性、関係を多面的に分析し考える。
	低	身近な人々、社会及び自然と関わることを通して、活動のよさや大切さに気付く。
	低	音楽表現を考えたり曲や演奏の楽しさを見出したりすることができる。
図	中	音楽表現を考えたり曲や演奏の楽しさを見出したりすることができる。
	高	音楽表現を考えたり曲や演奏の楽しさを見出したりすることができる。
	低	表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をすることができる。
家	中	表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をすることができる。
	高	表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をすることができる。
体	高	日常生活の中から問題を見出して、様々な解決方法を考えることができる。
	低	各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。
	中	自己の課題を見付け、活動を工夫し、考えたことを友達に伝えることができる。
外	高	自己やグループの課題を見付け、活動を工夫し、考えたことを他者に伝えることができる。
	高	読まれた音声を開き、目的や場面、状況などを推測することができる。